

生育状況は、平年並か平年よりもやや早く推移していると思われます。また、結実状況は地域・品種問わず不足する園地が散見されておりますが、結実した果実が無事に収穫できるよう、今後の管理作業・防除の徹底をお願いします。引き続き、シンクイムシ類の重点防除となります。授粉樹も含め、死角がないように散布しましょう。

1. プラム 薬剤散布(第8回目～9回目の防除を掲載) *ブルーネンは次ページ掲載

第8回

- ・散布時期： 6月11日～20日頃（第7回目の薬剤散布から約10日後）
- ・散布薬剤：

水	100ℓ当り	
展着剤（ハイテンパワー）	10ml	
	オンリーワンフロアブル	50ml（前日、3回）
	エクシレルSE	40ml（前日、3回）
- ・対象病害虫：灰星病、シンクイムシ類、ケムシ類
- ・散布量：10a当り SS500ℓ 動噴600ℓ（散布むらのないよう注意する）
- ・注意事項
 - ① 秋姫・紅りょうぜん・菅野中生などで黒斑病（かいよう病）の発生がある場合は、バリダシン液剤5の500倍（14日前、4回）または、スターナ水和剤1000倍（7日前、3回）を加用する。

5/27 スモモヒメシンクイ発生状況(フェロモントラップ調査)

*（ ）内、前回 5/19 調査数

上今井 - 0頭↓(7) 草間 - 10頭↓(31) 一本木 - 36頭↑(20) 倭 - 86頭↑(40)

【重要】シンクイムシ類の被害果は、園外へ除去し処理をお願いします。

第9回

『大石早生』 最終防除（収穫3日前までに必ず防除を終了する）

- ・散布時期： 6月21日～30日頃（第8回目の薬剤散布から約10日後）
- ・散布薬剤：

水	100ℓ当り	
展着剤（ハイテンパワー）	10ml	
	ベルコートフロアブル	50ml（3日前、3回）
	劇バリアード顆粒水和剤	50g（前日、2回）
- ・対象病害虫：灰星病（すす点病）、アブラムシ類、（シンクイムシ類）
- ・散布量：10a当り SS500ℓ 動噴600ℓ（散布むらのないよう注意する）
- ・注意事項
 - ① 秋姫などで黒斑病（かいよう病）の発生がある場合は、バリダシン液剤5の500倍（14日前、4回）加用する。

2. プルーン 薬剤散布（第5回目）

・ 散布時期： 6月15日～20日（第4回目の防除から約14日後）

・ 散布薬剤： 水 100ℓ当り

・ 散布日	6月	日
・ 散布量		ℓ

展着剤（ハイテンパワー）	10ml	
フリントフロアブル25	50ml	（前日、2回）
劇ダースバンDF	33g	（14日前、2回）
劇バリアード顆粒水和剤	50g	（前日、2回）

・ 対象病害虫： 灰星病（炭そ病）、アブラムシ類、シンクイムシ類、ウメシロカイガラムシ

・ 散布量： 10a当り SS500ℓ 動噴 600ℓ

・ 注意事項

- ① フリントフロアブル25に代えて、ナリアWDGの2000倍（前日、2回）を散布してもよい。
- ② シンクイムシ類の発生園は、定期防除間に劇イカズチWDGの1500倍（前日、2回）を特別散布する。

3. 今後の管理

- ＊徒長枝の整理を実施する。
- ＊園地の除草を徹底し、コスカシバ、シンクイムシ類対策も含め園内はたえずきれいにしておく。
- ＊笠掛け（貴陽・太陽・シナノパール） 裂果対策として6月下旬を目安として実施する。

●写真：プラム黒斑病（かいよう病）

特に、紅りょうぜん・菅野中生・秋姫で、発生が心配される園地は防除の徹底を図りましょう！



（7月収穫品種、収穫開始予想） プラム・プルーンは、気象条件だけでなく、樹体の状態により、収穫開始状況が変化しますのであくまで目安です。

・ 大石早生	-	6月27日頃	・ 紅りょうぜん	-	7月13日頃
・ サントス	-	7月18日頃	・ 菅野中生	-	7月17日頃
・ ソルダム	-	7月23日頃	・ サマ・エンジェル	-	7月27日頃